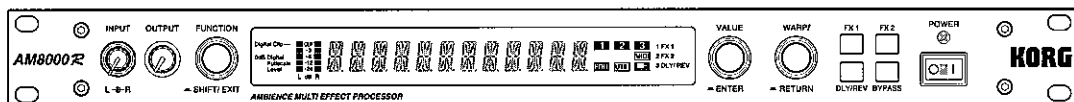


AM8000R

AMBIENCE MULTI EFFECT PROCESSOR

取扱説明書



目次

各部の名称とはたらき	4	[WARP!]ノブによるコントロール	9
フロントパネル	4	フットペダル / MIDIメッセージによるコントロール ..	10
リアパネル	5		
AM8000Rの操作方法	6	付 録	12
基本的な操作方法	6	パラメータ解説	12
エディットの方法	7	PROGRAM EDITモード	12
メイン・パラメータとサブ・パラメータ	7	UTILITYモード	22
リネームの方法	8	メッセージについて	24
ライトの方法	8	故障かな?と思ったら	24
プログラムのライト	8	仕様	25
ユーティリティ・パラメータのライト	8	MIDIインプリメンテーション・チャート	26
コンペア機能	9		
リアルタイム・コントロール	9		

KORG

安全上のご注意

火災・感電・人身障害の危険を防止するには

以下の指示を守ってください

警告



- 本製品を使用する前に、以下の指示をよく読んでください。
- 付属のAC/ACパワーサプライは、必ずAC100Vの電源コンセントに差し込んで使用してください。
- 次のような場合には直ちに電源を切り、AC/ACパワーサプライをコンセントから抜きます。そして、コルグ営業所またはお買い上げになった販売店に修理を依頼してください。
 - AC/ACパワーサプライの電源コードやプラグが破損したとき
 - 異物が内部に入ったり、液体がこぼれたとき
 - 製品が(雨などで)濡れたとき
 - 製品に異常や故障が生じたとき



- 次のような場所での使用や保存はしないでください。
 - 温度が極端に高い場所(直射日光のあたる場所、暖房機器の近く、発熱する機器の上など)
 - 水気の近く(風呂場、洗面台、濡れた床など)や湿度の高い場所
 - ホコリの多い場所



- 修理/部品の交換などで、取扱説明書に書かれている以外のことは、絶対にしないでください。必ず最寄りのコルグ営業所またはコルグ営業技術課に相談してください。
- AC/ACパワーサプライのコードを無理に曲げたり、上に重いものを乗せたりしないでください。コードに傷がつき危険です。
- 本製品をヘッドホン、アンプ、スピーカーと組み合わせて使用した場合、設定によっては、永久的な難聴になる程度の音量になります。大音量や不快な程度の音量で、長時間使用しないでください。万一、聴力低下や耳鳴りを感じたら、専門の医師に相談してください。
- 本製品に、異物(燃えやすいもの、硬貨、針金など)や液体(水やジュースなど)を絶対にいれないでください。



- 本製品およびAC/ACパワーサプライを分解したり、改造したりしないでください。

注意



- 本製品は正常な通気が妨げられることのない所に設置して、使用してください。
- 本製品はマイクロコンピュータを使用した機器です。このため他の電気機器を接近して同時にご使用になりますと、それらに雑音が入ることがあります。逆に他の電気機器から本製品が雑音を受けて誤動作する場合があります。
- AC/ACパワーサプライをご使用になる場合は、必ず指定のものをご使用ください。他のパワーサプライやアダプターをご使用になりますと故障の原因となります。また、使用後はAC/ACパワーサプライをコンセントから抜いてください。

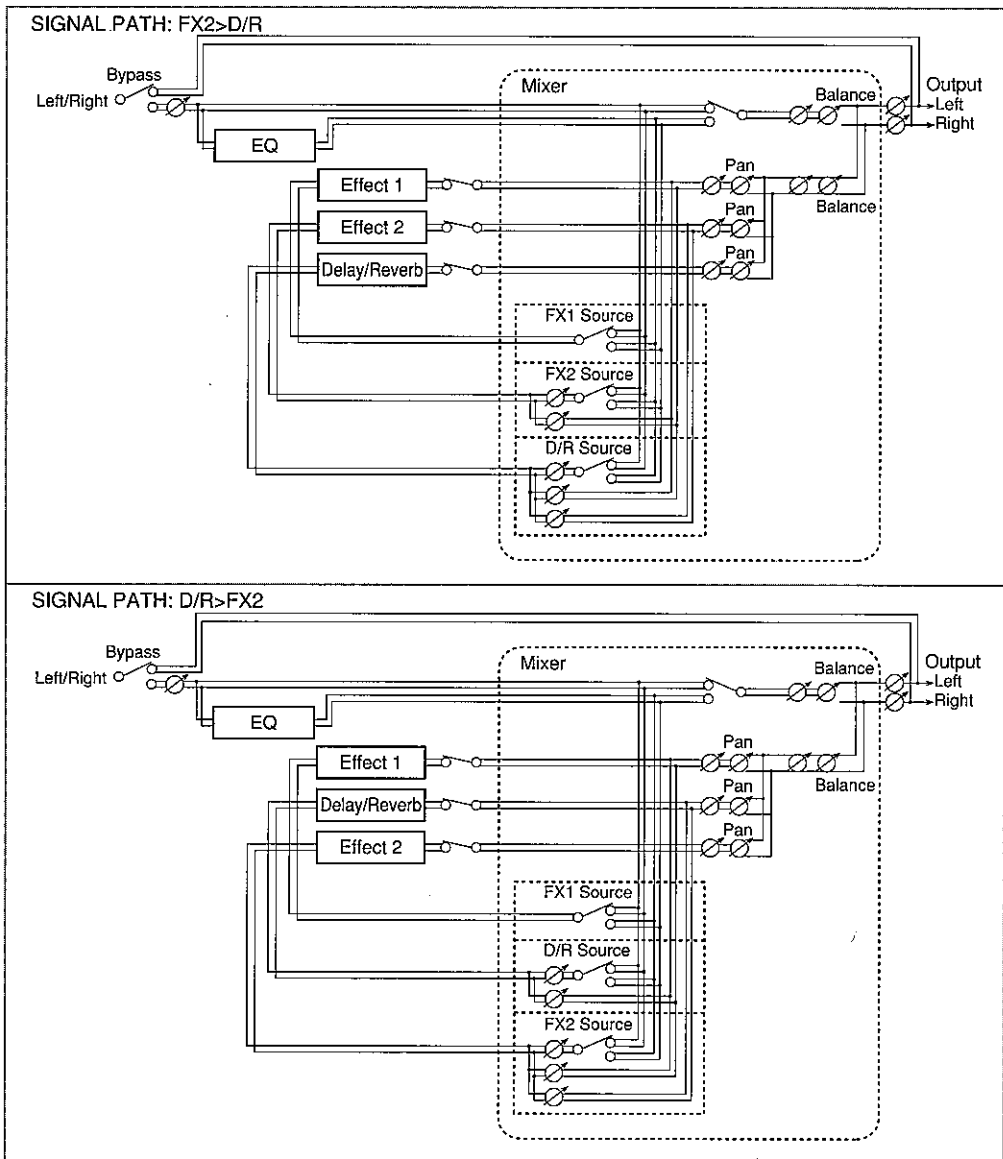


- スイッチやツマミに必要な以上の力を加えますと故障の原因となりますので注意してください。
- 外装のお手入れは、必ず乾いた柔らかい布で軽く拭いてください。ベンジンやシンナー系の液体は絶対にご使用にならないでください。(コンパウンド質、強燃性のポリッシャーも不可)。
- 製品をお買い上げいただいた日より一年間は、保証期間となり、修理は無償となりますが、保証書に購入店での手続きがない場合は無効となります。保証書は必ずお求めになった販売店で所定の手続きを行った後、大切に保管してください。
- 今後の参照のために、この取扱説明書はお読みになった後も大切に保管してください。



- AC/ACパワーサプライをコンセントから抜くときは、絶対にコードを引っばらないでください。故障の原因となります。

このたびは、コルグAM8000Rアンビエンス・マルチ・エフェクト・プロセッサをお買い上げ
 いただきまして、誠にありがとうございます。本製品を末永くご愛用していただくために、こ
 の取扱説明書をよくお読みになって正しい方法でご使用ください。また、取扱説明書は大切
 に保存してください。



各部の名称とはたらき

フロントパネル

[FUNCTION]ノブ
ノブを回すと、モードの選択やプログラム・エディット・パラメータ、ユーティリティ・パラメータが選択できます。
ノブを押すと、サブ・パラメータをもつパラメータを選択しているときは、サブ・パラメータが表示できます。メイン・パラメータとサブ・パラメータの階層を移動するとき、このノブを押します (SHIFT/EXIT機能)。

[VALUE]ノブ
ノブを回すと、プログラムを選択したり選ばれたパラメータの値を変化させることができます。
ノブを押すと、PROGRAM EDITモードやUTILITYモードのパラメータがライトできます (ENTER機能)。

[FX1]キー
エフェクト1をON/OFFします。
ON時は、ディスプレイの右の【1】が点灯します。

[FX2]キー
エフェクト2をON/OFFします。
ON時は、ディスプレイの右の【2】が点灯します。

電源スイッチ
電源をON/OFFします。

[INPUT]ノブ
左右の入カレベルを調整します。

[OUTPUT]ノブ
出力レベルを調整します。

[WARP]ノブ
本機の特徴である[WARP]ノブは、本機の様々なパラメータに割り当て (≠P9)、リアルタイムにコントロールすることができます。
ノブを回すと、どのパラメータに割り当てるかによって効果は異なりますが、割り当てたパラメータの値を一時的に変化 (プログラム自体の変更はない) させることができます。
ノブを押すと、[WARP]ノブを回して一時的に変更させたパラメータを元の値に戻すことができます (RETURN機能)。

[BYPASS]キー
このキーを押すと、エフェクトがかからない音が出力されます (バイパス機能)。解除するときにはもう一度キーを押します。
電源のOFF時はバイパスになります。
⚠ バイパス時はINPUT端子に入力された音量がそのまま出力されます。音量は接続した機器で調整してください。

[DLY/REV]キー
DELAY/REVERBをON/OFFします。
ON時は、ディスプレイの右の【3】が点灯します。

レベルメータ
入力レベルを表示します。
入力レベルが大きすぎると、CLP (クリップ) インジケータが点灯します。

[2] (FX2)
エフェクト2のON時に点灯し、エフェクト2のパラメータの表示時は点滅します。

[1] (FX1)
エフェクト1のON時に点灯し、エフェクト1のパラメータの表示時は点滅します。

[3] (DLY/REV)
DELAY/REVERBのON時に点灯し、DELAY/REVERBのパラメータの表示時は点滅します。

[MIDI]
MIDIメッセージの受信時に点灯します。

ディスプレイ
プログラムや各種のパラメータ等を表示します。

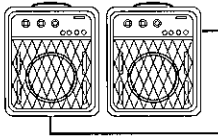
[EDIT]
PROGRAM EDITモード時に点灯します。
パラメータ値の変更後、ライトせずに他のモードへ移ったときは点滅します。

[L] (SHIFT)
PROGRAM EDITモード、UTILITYモードのメイン・パラメータを表示している場合、その下の階層にサブ・パラメータが存在するとき点滅します。下の階層に入りサブ・パラメータを表示しているとき点灯します。

[UTIL] (UTILITY)
UTILITYモード時に点灯します。
パラメータ値の変更後、ライトせずに他のモードへ移ったときは点滅します。

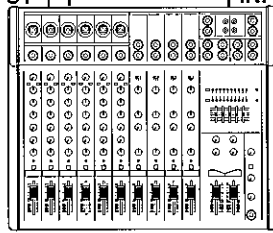
リアパネル

パワード・モニター

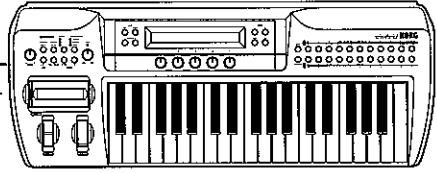


OUTPUT

ミキサー



INPUT



パワード・モニター/ミキサーなどの接続

⚠ 本機の出カレベルは非常に高いため、接続する機器によってはスピーカー等を破損する恐れがあります。[OUTPUT]ノブで、接続する機器を適切な出力レベルに調節してから使用してください。

音源の接続

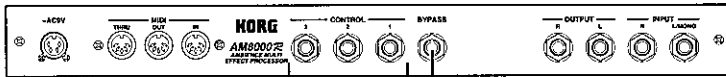
ミキサーのAUX SEND出力や、エフェクトをかけるシンセサイザーのOUTPUT端子等と接続します。モノラルで接続するときは本機のINPUT端子のLに接続します。

RETURN

AUX SEND

OUTPUT端子(L, R)

INPUT端子(L/MONO, R)



AC IN端子



コンセントへ

電源の接続

⚠ 必ず付属のAC/ACパワーサプライを使用してください。

BYPASS端子

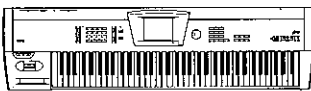
ペダルスイッチでバイパス機能を使用するための端子です。

CONTROL端子1~3

ペダルスイッチ、エクスペッションペダルを接続する端子です。本機のようなパラメータをリアルタイムにコントロールすることができます。

MIDIエフェクターなど

コンピュータ/シーケンサなど



MIDI OUT端子の接続

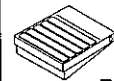
本機のみ MIDI OUT端子とMIDI機器のMIDI IN端子を接続します。主に、MIDI機器でデータを保存するための接続です。コンピュータと接続するためには、コンピュータ側にMIDIインターフェイスが必要です。

コンピュータ/シーケンサ/MIDIフットコントローラ/MIDIキーボードなど

MIDI IN端子の接続

本機のみ MIDI IN端子とMIDI機器のMIDI OUT端子を接続します。MIDI機器で本機をコントロールするための接続です。コンピュータと接続するためには、コンピュータ側にMIDIインターフェイスが必要です。

ペダルスイッチには別売のPS-1/2を、エクスペッションペダルには別売のEXP-2、XVP-10を使用してください。ペダルスイッチを使用するときは、あらかじめUTILITYモードのFOOT PEDALでフットペダルのタイプを設定してください。



PS-1




EXP-2

AM8000Rの操作方法

基本的な操作方法


①電源を入れる

「リア・パネル」(P5)を参考にして接続をすべて終えたら、電源スイッチをONにします。PROGRAM SELECTモードへ入り、プログラムが表示されます。

 本機の電源をON/OFFするときは、接続してある機器のボリュームを必ず下げてください。

②入力レベルを設定する

接続した機器の音を入力し、[INPUT]ノブを回して適切な入力レベルに調整してください。入力レベルが大きすぎるときは、ディスプレイの左のCLPインジケータが点灯します。

 エフェクトの設定値によっては、入力レベルが大きくなってもCLPインジケータが点灯することがあります。これは、デジタル処理時に内部でオーバーフローしていることを示しています。この場合は、PROGRAM EDITモードのレベル等(MIXERのサブ・パラメータ)で、内部でのレベルが下がるように調整してください。

③出力レベルを設定する

[OUTPUT]ノブを回し、適切な出力レベルに調整してください。

④プログラムを選ぶ

[VALUE]ノブを回してプログラムを選択します。

*本体でプログラムを選択するときは、「DIR(ダイレクト・モード)」と「2STP(2ステップ・モード)」があります(工場出荷時は「ダイレクト」)。

ダイレクト・モードでは、PROGRAM SELECTモードで[VALUE]ノブを回してプログラムを選択します。

2ステップ・モードでは、(ダイレクト・モードと同様に)PROGRAM SELECTモードでプログラムを選択したあとで、[VALUE]ノブを1度押しで確定します。

このモードを変更するときは、UTILITYモードのPROGRAMパラメータのサブ・パラメータの階層へ移り、PROGCHG MODEを選択し、この値を設定します。

プログラムの選択は、本体操作以外に、MIDIメッセージを受信してプログラムチェンジを行なうこともできます。

本機のプログラムは、「プリセット・プログラム・リスト」を参照してください。

*電源ON時のプログラムは、UTILITYモードのPROGRAMのサブ・パラメータであるWAKE UP PROGで選択されているプログラムです。

⑤モードとパラメータの選び方(下の図参照)


電源をONにするとPROGRAM SELECTモードへ入ります。このモードでプログラムを選択します。

PROGRAM SELECTモードで[FUNCTION]ノブを右へ回すと、PROGRAM EDITモードへ入り、プログラム・エディットのメイン・パラメータが表示され、同時にディスプレイの右の[EDIT]が点灯します。

このモードでは、各プログラムを構成するパラメータをエディットし、オリジナルのエフェクト設定を行ないます。

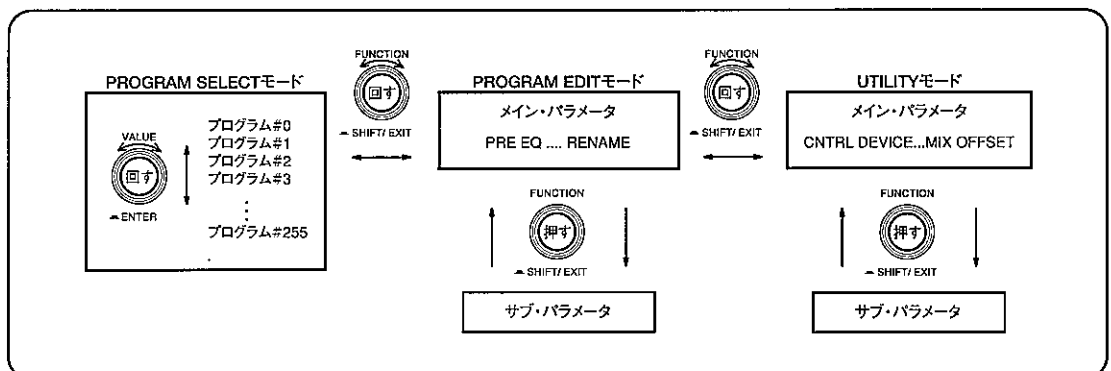
PROGRAM EDITモードで、さらに[FUNCTION]ノブを右へ回していくとUTILITYモードへ入り、ユーティリティのメイン・パラメータが表示され、同時にディスプレイの右の[UTIL]が点灯します。

このモードでは、MIDIメッセージの送受信を含む本機の基本的な設定を行います。

メイン・パラメータが表示されているときに[

*パラメータ名は、短縮形とスクロールのどちらかで表示されます(工場出荷時は短縮形)。

これを変更するときは、UTILITYモードでDISPLAYを選択し、[FUNCTION]ノブを押してサブ・パラメータの階層へ移ります。



[FUNCTION]ノブを回してABBREV MODEを選択し、[VALUE]ノブで1または2を選択します。1では短縮形、2ではスクロールで表示されます。
短縮形に変化するまでの時間やスクロール時の速さは、DISPLAYのサブ・パラメータであるABBREV TIMEで調整することができます。

⑥ [WARP!]ノブの操作

工場出荷時のすべてのプログラムには、パネル上の[WARP!]ノブにパラメータが割り当てられています。音を出しながら[WARP!]ノブを回して効果を試してみてください。

⑦ エフェクトのON/OFF切り替え

FX1、FX2、DLY/REVの各エフェクトは、[FX1]キー、[FX2]キー、[DLY/REV]キーを押してON/OFFを切り替えることができます。OFFにしたエフェクトからは出力されません。

FX1がONのときはディスプレイの右の【1】が、FX2がONのときは【2】が、DLY/REVがONのときは【3】がそれぞれ点灯します。

▲ エフェクトのON/OFFの設定を本体に保存することはできません。

PROGRAM EDITモードでOFFになっているエフェクトのサブ・パラメータを表示させると、自動的にONに切り替わります。

⑧ パラメータのエディット(☞P7)

選んだプログラムを元にして、パラメータの値を変更し、新たなエフェクト・プログラムを作ることができます。

⑨ ライト(☞P8)

作成したエフェクト・プログラムや、変更したユーティリティ・パラメータは、[VALUE]ノブを押して、本機内にライトして保存することができます。

▲ [VALUE]ノブを2秒以上押し続けると画面にCOMPAREと表示され、コンペア(☞P9)が機能します。

▲ プログラムのライト操作を行うと、ライト先のプログラムはライト元のプログラムに書き変わりますので十分注意してください。

▲ ライト操作をせずに電源を切ったりプログラムを選択すると、変更した値はすべて無効となります。

● 工場出荷時のプログラムに戻りたいとき

UTILITYモードのPRESET (MEMORYのサブ・パラメータ)を選択し、[VALUE]ノブを押して工場出荷時のプログラムをロードします。

▲ ロードすると、工場出荷時のプログラムが本体のプログラムの上書き込まれるので、ライトの操作で本体に保存したデータを失うことになります。大切なデータは、データファイラー等へあらかじめ保存しておいてください。

エディットの方法

PROGRAM EDITモードのパラメータをエディットし、オリジナルのエフェクトを作ることができます。また、UTILITYモードのパラメータでは、本機のリアルタイム・コントロール機能の設定を中心に基本的な設定を使用する目的に合わせてエディットすることができます。

① [FUNCTION]ノブを回してパラメータを選びます。

② [VALUE]ノブを回して値を変更します。
現在表示されている値とライトされている元の値とが異なる場合は、パラメータ名の最後のドットが点灯します。

メイン・パラメータとサブ・パラメータ

本機は、PROGRAM EDITモードとUTILITYモードのメイン・パラメータの下にサブ・パラメータが並ぶ階層構造になっています。この階層を切り替える場合は、[FUNCTION]ノブを押します。

表示しているメイン・パラメータの下にサブ・パラメータがあるときは、ディスプレイの右の【G】が点滅します。サブ・パラメータが表示されているときは、【G】が点灯に変わります。メイン・パラメータの中には、サブ・パラメータを表示するためだけで値を持っていないものもあります。

FX1のパラメータを選択しているときは、ディスプレイの右の【1】が点滅します。

FX2のパラメータを選択しているときは、ディスプレイの右の【2】が点滅します。

DLY/REVのパラメータを選択しているときは、ディスプレイの右の【3】が点滅します。

OFFになっているエフェクトのサブ・パラメータを選択すると、そのエフェクトは自動的にONに切り替わります。

リネームの方法

プログラムには12文字までの名前が付けられます。

- ① [FUNCTION]ノブを回し、PROGRAM EDITモードのRENAMEを選択します。
- ② [FUNCTION]ノブを押し、サブ・パラメータの階層へ入ります。
- ③ [FUNCTION]ノブを回し、変更する文字を選びます。
- ④ [VALUE]ノブを回し、文字を選択します。

選択できる文字は、以下の65文字です。スペースを選択するとディスプレイには“ ”と表示されます。

	!	"	#	\$	%	&	'	()
*	+	,	-	.	/	0	1	2	3
4	5	6	7	8	9	:	;	=	
~	?	@	A	B	C	D	E	F	G
H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q
R	S	T	U	V	W	X	Y	Z	[
\]	^	_	`					

ライトの方法

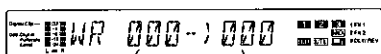
プログラムのライト

PROGRAM EDITモードのパラメータを変更して作成した大切なプログラムは、本体へライト(書き込み)して保存してください。パラメータ値の変更後、ライトせずに他のモードに移ったときは、ディスプレイの右の【EDIT】が点滅します。

- ⚠ プログラムのライト操作を行うと、ライト先のプログラムはライト元のプログラムに書き変わりますので十分注意してください。
- ⚠ UTILITYモードのWRITE PROTCT(MEMORY)のサブ・パラメータがONになっているときはライトできません。

- ① [VALUE]ノブを押します。

ディスプレイには、現在のプログラム・ナンバーと書き込み先のプログラム・ナンバーが表示されます。



現在のプログラム・ナンバー 書き込み先のプログラム・ナンバー

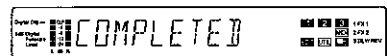
ライトを中止するときは[FUNCTION]ノブを押します。

- ⚠ [VALUE]ノブを2秒以上押し続けると画面に“COMPARE”と表示され、コンペア機能(P9)が動作します。

- ② [VALUE]ノブを回してライト先のプログラム・ナンバーを選びます。
ここでは、0~127を選びます(128~255はROMエリアなのでライトできません)。

- ③ [VALUE]ノブを押します。

選んだ書き込み先にプログラムが書込まれ、書き込みが終了すると下のように“COMPLETED”と表示されます。その後、元の表示に戻ります。



ユーティリティ・パラメータのライト

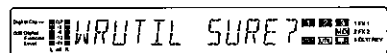
UTILITYモードのパラメータを変更した場合、その設定を本体へ保存しておきたいときはライトしてください。パラメータ値の変更後、ライトせずに他のモードに移ったときは、ディスプレイの右の【UTIL】が点滅します。

PROGRAM EDITモードのライトと異なり、ライト先の指定やコンペア機能、ライトプロテクト機能はありません。

- ⚠ ライト操作を行わないで電源を切ると、変更した内容はすべて無効となります。

- ① [VALUE]ノブを押します。

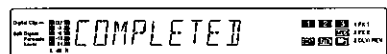
ディスプレイには、下のように表示されます。



ライトを中止するときは[FUNCTION]ノブを押します。

- ② [VALUE]ノブを押します。

書き込みが終了すると“COMPLETED”と表示されます。その後、元の表示に戻ります。

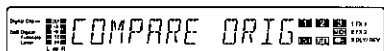


コンペア機能

PROGRAM EDITモードでパラメータをエディットするとき、この機能を使うと、エディット前のパラメータの設定と、現在エディット中のパラメータの設定とを聞きくらべることができます。

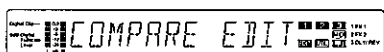
① [VALUE]ノブを2秒以上押し続けます。

コンペアが機能し、ディスプレイの表示は下のようになります。



この状態のときは、エディット前のパラメータの設定でエフェクトがかかります。

② [VALUE]ノブを押すとエディット中のエフェクトが使用でき、ディスプレイの表示は下のようになります。



③ もう一度 [VALUE]ノブを押すとエディット前のエフェクトが使用でき、ディスプレイには①と同様に“COMPARE ORIG”と表示されます。

このように [VALUE]ノブを押すたびに、エディット前と後のパラメータの設定を切り替えることができます。コンペア機能から抜けるときは、[FUNCTION]ノブを押します。

リアルタイム・コントロール

本機では、[WARP!]ノブ、CONTROL端子1～3に接続したフットペダル、MIDIメッセージ、等のコントローラにパラメータを割り当て、その値を変化させることができます。演奏中にコントローラを操作すると、パラメータの設定が変化してフレーズに表情を付けることができます。

- 次に説明する各手順で、UTILITYモード、PROGRAM EDITモードの設定を保存しておきたいときは、各モードの設定後に必ずライト操作 (P8) を行ってください。

[WARP!]ノブによるコントロール

工場出荷時のすべてのプログラムには、[WARP!]ノブにパラメータが割り当てられています。[WARP!]ノブで効果を試してみてください。

本機では、パネル上の [WARP!]ノブにパラメータを割り当てることができます。

例えば、FX1 TYPEをSCHO/FLN(ステレオ・コーラス/フランジャー)に設定し、そのMOD SRC(SCHO/FLNのサブ・パラメータ)をLFOに設定した場合、[WARP!]ノブを2周回したときにLFOのスピードを現在のパラメータ値から16.0Hzまで変化させたいときは、以下のように設定します。

<UTILITYモードの設定>

① [FUNCTION]ノブを回し、UTILITYモードのCNTRL DEVICEを選択します。

ディスプレイの右の[UTIL]が点灯して現在UTILITYモードにいることを示し、同時に[]が点滅してそのパラメータにサブパラメータが存在することを示します。

② [FUNCTION]ノブを押してサブ・パラメータの階層へ入ります。

a [FUNCTION]ノブを回し、CONTROLLER1～8のうちの1つを選択します。
ここでは、CONTROLLER1を選択しましょう。

b [VALUE]ノブを回してWARP!を選択します。
ここで、ペダルやMIDIコントロールチェンジなどのコントローラを選択すると、それらを使ってLFOのスピードを変化させることができます(他のパラメータを設定し直す必要はありません)。

③ [FUNCTION]ノブを押してメイン・パラメータの階層へ戻ります。

<PROGRAM EDITモードの設定>

④ [FUNCTION]ノブを左へ回し、PROGRAM EDITモードのEXPRESSION1～8のうちの1つを選択します。

ディスプレイの右の[EDIT]が点灯し、[]が点滅します。

ここでは、EXPRESSION1を選択しましょう。

⑤ [VALUE]ノブを回してONにします。

⑥ [FUNCTION]ノブを押してサブ・パラメータの階層へ入ります。

a [FUNCTION]ノブを右へ1クリック回してEXP1 SOURCEを選択します。

b [VALUE]ノブを回して②aで選択したコントローラを設定します。
ここでは、CR1を選択しましょう。

- c [FUNCTION]ノブを左へ1クリック回してEXP1 TARGETを選択し、[VALUE]ノブを回してコントロールするパラメータを選びます。
ここでは、ディスプレイの右の【1】が点滅するLFO SPDを選択しましょう。
- d [FUNCTION]ノブを右へ2クリック回してEXP1 RANGEを選択し、[VALUE]ノブを回して16.0に設定します。
- e [FUNCTION]ノブを右へ1クリック回してEXP1 POLARTYを選択し、[VALUE]ノブを回して+に設定します。
+にすると、右方向に回したとき⑥dの設定に近づきます。
-にすると、左方向に回したとき⑥dの設定に近づきます。

⑦ [FUNCTION]ノブを押してメイン・パラメータの階層へ戻ります。

⑧ [FUNCTION]ノブを右へ回してWARP! RESULTを選択し、[VALUE]ノブを回して2を設定します。

WARP! RESULTでは、[WARP!]ノブを何周回すと⑥dで設定したレンジに到達するかという感度を設定します。

2を設定すると、ターゲット・パラメータ(ここではLFO SPD)の値が、2周する間に現在のパラメータ値からレンジの値(16.0Hz)に変化します。

<[WARP!]ノブの操作>

以上のように設定すると、[WARP!]ノブで次の操作ができます。

- [WARP!]ノブを右へ回すと徐々にLFOスピードが速くなっていき、[WARP!]ノブを右へ2周回すとRANGE1の設定値(16.0Hz)になります。左へ回すと徐々にLFOスピードが遅くなります。
パラメータはWARP! RESULTで設定した周回(2周)の間で変化します。EXP1 POLARTYの設定が+なら右方向へ回すとEXP1 RANGEの値まで変化し、左方向へ回すと元の値まで変化します。
- 変化後に[WARP!]ノブを押すと、[WARP!]ノブを回す前の状態に戻すことができます。

フットペダル / MIDIメッセージによる コントロール

本機では、CONTROL端子1~3に接続したフットペダルを操作して、またはMIDIコントロールチェンジ、MIDIベロシティ等のMIDIメッセージを受信して、割り当てたパラメータをコントロールすることができます。

例えば、FX1 TYPEをS-WAH(ステレオ・ワウ)に設定し、MANUAL(効果のかかる周波数を設定するパラメータ)をMIDIコントロールチェンジ1の受信で現在のパラメータ値から99まで変化させたいときは、以下のように設定します。

<UTILITYモードの設定>

- ① [WARP!]ノブによるコントロール」の手順①~③を設定します。そのうち、②bではCC001を選択します。

CONTROL端子1~3に接続したフットペダルでパラメータをコントロールするときは、②bでPEDAL1~3を選択します。

<PROGRAM EDITモードの設定>

- ② [FUNCTION]ノブを左へ回してPROGRAM EDITモードのEXPRESSION1~8の1つを選択します。

ここでは、EXPRESSION1を選択しましょう。

- ③ [VALUE]ノブを回してONにします。

- ④ [FUNCTION]ノブを押してサブ・パラメータの階層へ入ります。

- a [FUNCTION]ノブを右へ1クリック回してEXP1 SOURCEを選択し、[VALUE]ノブを回して①で選択したコントローラを設定します。
ここでは、CR1を選択しましょう。

- b [FUNCTION]ノブを左へ1クリック回してEXP1 TARGETを選択し、[VALUE]ノブを回して変化させるパラメータを選択します。
ここでは、ディスプレイの右の【1】が点滅するMANUALを選択しましょう。

- c [FUNCTION]ノブを右へ1クリック回してEXP1 RANGEを選択し、[VALUE]ノブを回して99に設定します。

- d [FUNCTION]ノブを右へ2クリック回してEXP1 POLARTYを選択し、[VALUE]ノブを回して変化の方向を設定します。

+にすると、受信したMIDIコントロール・チェンジ

のデータバイトが0のとき現在のパラメータ値になり、MIDIコントロール・チェンジが増加する方向に変化したとき④cの設定に近づきます。

一にすると、受信したMIDIコントロール・チェンジのデータバイトが127(=7F)のとき現在のパラメータ値になり、MIDIコントロール・チェンジが減少する方向に変化したとき④cの設定に近づきます。

付 録

パラメータ解説

PROGRAM EDITモード

PRE EQ (PRE EQ) [OFF, ON]

エフェクトの前に位置するEQを使用するときはONにします。

LOW GAIN (LO GAIN) [-15...15dB]

低域イコライザのゲインを調整します。

LOW FREQ (LO FREQ) [31.5Hz...1kHz]

低域イコライザのカットオフ周波数を調整します。

MID GAIN (MID G) [-15...15dB]

中域イコライザのゲインを調整します。

MID FC (MID FC) [80Hz...8kHz]

中域イコライザのカットオフ周波数を調整します。

MID Q (MID Q) [0.3...10]

中域イコライザの帯域幅を調整します。

HIGH GAIN (HI GAIN) [-15...15dB]

高域イコライザのゲインを調整します。

HIGH FREQ (HI FREQ) [1...16kHz]

高域イコライザのカットオフ周波数を調整します。

EQ LEVEL (EQ LVL) [-INF...6dB]

EQによって増幅または減衰したレベルの補正をします。

FX1 TYPE (F1) [SCHO/FLN...S_DUCKER]

エフェクト1のタイプを選択します。
サブ・パラメータは選択したエフェクトによって異なります。

FX2 TYPE (F2) [SCHO/FLN...S_DUCKER]

エフェクト2のタイプを選択します。
サブ・パラメータは選択したエフェクトによって異なります。
選択したエフェクト名の左右に表示される一、=は、そのエフェクトの入出力タイプを示しています(一:モノラル、=:ステレオ)。エフェクトによっては、モジュレーションのソースとしてENV(エンベロープ)を割り当てられるものがあります。エンベロープを使用する際には、あらかじめ、UTILITYモードのAUDIO CONTRLのサブ・パラメータ、ENVELOP SENSを調整してください。

<FX1 TYPE/FX2 TYPEのサブ・パラメータ>

FX1 TYPEまたはFX2 TYPEで選択するエフェクトのタイプによって、表示されるサブ・パラメータが以下のように異なります。

■SCHO/FLN (Stereo Chorus/Flanger)

ステレオ入出力のコラス/フランジャーです。

DELAY TIME (DELAY) [0.1...60ms]

ディレイタイムを調整します。

FEEDBACK (FEEDBACK) [-99...99%]

フィードバック量を調整します。

HIGH DAMP (HI DAMP) [THRU...1kHz]

高域の音色を調整します。

LOW DAMP (LO DAMP) [THRU...1kHz]

低域の音色を調整します。

MOD DEPTH (MOD DEPTH) [0...99]

モジュレーションの深さを調整します。

MOD STEP (MOD STEP) [OFF, 0.1...40.0Hz]

モジュレーションをステップ動作させる周波数を調整します。

MOD SMOOTH (MOD SMOOTH) [1...9]

モジュレーションのなめらかさを調整します。

MOD SOURCE (MOD SRC) [LFO, ENV]

ディレイタイムをゆらすモジュレーションのソースを設定します。

LFO SPEED (LFO SPD) [0.01...16.0Hz]

LFOの周波数を調整します。

LFO PHASE (LFO PHAS) [0...180deg]

LFOの左右の位相を調整します。

LFO TYPE (LFO TYPE) [SIN, TRI, EXP, LOG]

LFOのタイプを設定します。

ENVLP PLRTY (ENV PLTY) [+/-, +/-, +/-, +/-]

エンベロープの極性(動作方向)を設定します。
“/”の右をライト側の極性、左をレフト側の極性で表示されます。

POLARITY (POLARITY) [+ , -]

出力の極性を設定します。

■DCHO/FLN (Dual Chorus/Flanger)

ステレオ入出力のコラス/フランジャーで、2系統の回路を独立して設定できます。

L DELAY TIME* (L DELAY) [0.1...60ms]

ディレイタイムを調整します。

L FEEDBACK* (L FBACK) [-99...99%]

フィードバック量を調整します。

L HIGH DAMP* (L H-DMP) [THRU...1kHz]

高域の音色を調整します。

L LOW DAMP* (L L-DMP) [THRU...1kHz]

低域の音色を調整します。

L MOD DEPTH* (L DEPTH) [0...99]

モジュレーションの深さを調整します。

MOD STEP (MOD STEP) [OFF, 0.1...40.0Hz]

モジュレーションをステップ動作させる周波数を調整します。

MOD SMOOTH (MOD SMOOTH)	[1...9]
モジュレーションのなめらかさを調整します。	
MOD SOURCE (MOD SRC)	[LFO, ENV]
ディレイタイムをゆらすモジュレーションのソースを設定します。	
LFO SPEED (LFO SPD)	[0.01...16.0Hz]
LFOの周波数を調整します。	
LFO PHASE (LFO PHAS)	[0...180deg]
LFOの左右の位相を調整します。	
LFO TYPE (LFO TYPE)	[SIN, TRI, EXP, LOG]
LFOのタイプを設定します。	
ENVLP PLRTY (ENV PLTY)	[+/+, -/-, +/-, -/+]
エンベロープの極性(動作方向)を設定します。	
“/”の右をライト側の極性、左をレフト側の極性で表示されます。	
L POLARITY* (L POLARITY)	[+, -]
出力の極性を設定します。	

■MOD_DLY (Modulation Delay)

モノラル入出力のモジュレーション・ディレイです。

DELAY TIME (DELAY)	[1...800ms]
ディレイタイムを調整します。	
FEEDBACK (FEEDBACK)	[0...99%]
フィードバック量を調整します。	
HIGH DAMP (HI DAMP)	[THRU...1kHz]
高域の音色を調整します。	
LOW DAMP (LO DAMP)	[THRU...1kHz]
低域の音色を調整します。	
MOD DEPTH (MOD DEPTH)	[0...99]
モジュレーションの深さを調整します。	
MOD STEP (MOD STEP)	[OFF, 0.1...40.0Hz]
モジュレーションをステップ動作させる周波数を調整します。	
MOD SMOOTH (MOD SMOOTH)	[1...9]
モジュレーションのなめらかさを調整します。	
MOD SOURCE (MOD SRC)	[LFO, ENV]
ディレイタイムをゆらすモジュレーションのソースを設定します。	
LFO SPEED (LFO SPD)	[0.01...16.0Hz]
LFOの周波数を調整します。	
LFO PHASE (LFO PHAS)	[0...180deg]
LFOの左右の位相を調整します。	
LFO TYPE (LFO TYPE)	[SIN, TRI, EXP, LOG]
LFOのタイプを設定します。	
ENVLP PLRTY (ENV PLTY)	[+/+, -/-, +/-, -/+]
エンベロープの極性(動作方向)を設定します。	
“/”の右をライト側の極性、左をレフト側の極性で表示されます。	
INPUT SOURCE (SOURCE)	[L+R, Lch, Rch]
入力信号のソースを選択します。	

■SMOD_DLY (Stereo Modulation Delay)	
ステレオ入出力のモジュレーション・ディレイです。	
DELAY TIME (DELAY)	[1...400ms]
ディレイタイムを調整します。	
FEEDBACK (FEEDBACK)	[0...99%]
フィードバック量を調整します。	
HIGH DAMP (HI DAMP)	[THRU...1kHz]
高域の音色を調整します。	
LOW DAMP (LO DAMP)	[THRU...1kHz]
低域の音色を調整します。	
MOD DEPTH (MOD DEPTH)	[0...99]
モジュレーションの深さを調整します。	
MOD STEP (MOD STEP)	[OFF, 0.1...40.0Hz]
モジュレーションをステップ動作させる周波数を調整します。	
MOD SMOOTH (MOD SMOOTH)	[1...9]
モジュレーションのなめらかさを調整します。	
MOD SOURCE (MOD SRC)	[LFO, ENV]
ディレイタイムをゆらすモジュレーションのソースを設定します。	
LFO SPEED (LFO SPD)	[0.01...16.0Hz]
LFOの周波数を調整します。	
LFO PHASE (LFO PHAS)	[0...180deg]
LFOの左右の位相を調整します。	
LFO TYPE (LFO TYPE)	[SIN, TRI, EXP, LOG]
LFOのタイプを設定します。	
ENVLP PLRTY (ENV PLTY)	[+/+, -/-, +/-, -/+]
エンベロープの極性(動作方向)を設定します。	
“/”の右をライト側の極性、左をレフト側の極性で表示されます。	
■DMOD_DLY (Dual Modulation Delay)	
ステレオ入出力のモジュレーション・ディレイで、2系統の回路を独立して設定できます。	
L DELAY TIME* (L DELAY)	[1...400ms]
ディレイタイムを調整します。	
L FEEDBACK* (L FBACK)	[0...99%]
フィードバック量を調整します。	
L HIGH DAMP* (L H-DMP)	[THRU...1kHz]
高域の音色を調整します。	
L LOW DAMP * (L L-DMP)	[THRU...1kHz]
低域の音色を調整します。	
L MOD DEPTH* (L DEPTH)	[0...99]
モジュレーションの深さを調整します。	
MOD STEP (MOD STEP)	[OFF, 0.1...40.0Hz]
モジュレーションをステップ動作させる周波数を調整します。	

*これらは左/右のラインごとに設定するパラメータです。ディスプレイの表示で、パラメータ名の左が“L”のときはレフト側、“R”のときはライト側のパラメータです。

MOD SMOOTH (MOD SMOOTH) [1...9] モジュレーションのなめらかさを調整します。	MOD SMOOTH (MOD SMOOTH) [1...9] モジュレーションのなめらかさを調整します。
MOD SOURCE (MOD SRC) [LFO, ENV] ディレイタイムをゆらすモジュレーションのソースを設定します。	MOD SOURCE (MOD SRC) [LFO, ENV] マニュアルをゆらすモジュレーションのソースを設定します。
LFO SPEED (LFO SPD) [0.01...16.0Hz] LFOの周波数を調整します。	LFO SPEED (LFO SPD) [0.01...16.0Hz] LFOの周波数を調整します。
LFO PHASE (LFO PHAS) [0...180deg] LFOの左右の位相を調整します。	LFO TYPE (LFO TYPE) [SIN, TRI, EXP, LOG] LFOのタイプを設定します。
LFO TYPE (LFO TYPE) [SIN, TRI, EXP, LOG] LFOのタイプを設定します。	ENVLP PLRTY (ENV PLRTY) [+ , -] エンベロープの極性(動作方向)を設定します。
ENVLP PLRTY (ENV PLTY) [+ / + , - / - , + / - , - / +] エンベロープの極性(動作方向)を設定します。 “/”の右をライト側の極性、左をレフト側の極性で表示されます。	INPUT SOURCE (SOURCE) [L+R, Lch, Rch] 入力信号のソースを選択します。
■TAPE_DLY (Tape Delay) テープ・ディレイのシミュレーターです(モノラル入出力)。	■S_PHASER (Stereo Phaser) ステレオ入出力のフェイザーです。
DELAY TIME (DELAY) [1...800ms] ディレイタイムを調整します。	STAGE (STAGE) [4, 8] フェイズシフターの段数を設定します。
FEEDBACK (FEEDBACK) [0...99%] フィードバック量を調整します。	MANUAL (MANUAL) [0...99] 効果のかかる周波数を調整します。
HIGH DAMP (HI DAMP) [THRU...1kHz] 高域の音色を調整します。	RESONANCE (RESO) [-99...99] レゾナンスの量を調整します。
LOW DAMP (LO DAMP) [THRU...1kHz] 低域の音色を調整します。	MOD DEPTH (MOD DEPTH) [0...99] モジュレーションの深さを調整します。
SATURATE (SATURATE) [1...12] 歪みの量を調整します。	MOD STEP (MOD STEP) [OFF, 0.1...40.0Hz] モジュレーションをステップ動作させる周波数を調整します。
FLUTTER (FLUTTER) [0...99] テープ速度の揺れ具合を調整します。	MOD SMOOTH (MOD SMOOTH) [1...9] モジュレーションのなめらかさを調整します。
S/N RATIO (S/N RATIO) [96...48dB] ノイズの量を調整します。	MOD SOURCE (MOD SRC) [LFO, ENV] マニュアルをゆらすモジュレーションのソースを設定します。
INPUT SOURCE (SOURCE) [L+R, Lch, Rch] 入力信号のソースを設定します。	LFO SPEED (LFO SPD) [0.01...16.0Hz] LFOの周波数を調整します。
■PHASER (Phaser) モノラル入出力のフェイザーです。	LFO PHASE (LFO PHAS) [0...180deg] LFOの左右の位相を調整します。
STAGE (STAGE) [4, 8, 12, 16] フェイズシフターの段数を設定します。	LFO TYPE (LFO TYPE) [SIN, TRI, EXP, LOG] LFOのタイプを設定します。
MANUAL (MANUAL) [0...99] 効果のかかる周波数を調整します。	ENVLP PLRTY (ENV PLTY) [+ / + , - / - , + / - , - / +] エンベロープの極性(動作方向)を設定します。 “/”の右をライト側の極性、左をレフト側の極性で表示されます。
RESONANCE (RESO) [-99...99] レゾナンスの量を調整します。	■D_PHASER (Dual Phaser) ステレオ入出力のフェイザーで、2系統の回路を独立して設定できます。
MOD DEPTH (MOD DEPTH) [0...99] モジュレーションの深さを調整します。	STAGE (STAGE) [4, 8] フェイズシフターの段数を設定します。
MOD STEP (MOD STEP) [OFF, 0.1...40.0Hz] モジュレーションをステップ動作させる周波数を調整します。	

L MANUAL* (L MANUAL)	[0...99]	DEPTH (DEPTH)	[0...99]
効果のかかる周波数を調整します。		モジュレーションの深さを調整します。	
L RESONANCE* (L RESO)	[-99...99]	DELAY TIME (DELAY)	[1...800ms]
レゾナンスの量を調整します。		ディレイタイムを調整します。	
L MOD DEPTH* (L DEPTH)	[0...99]	FEEDBACK (FEEDBACK)	[-99...99%]
モジュレーションの深さを調整します。		フィードバック量を調整します。	
MOD STEP (MOD STEP)	[OFF, 0.1...40.0Hz]	HIGH DAMP (HI DAMP)	[THRU...1kHz]
モジュレーションをステップ動作させる周波数を調整します。		高域の音色を調整します。	
MOD SMOOTH (MOD SMOOTH)	[1...9]	LOW DAMP (LO DAMP)	[THRU...1kHz]
モジュレーションのなめらかさを調整します。		低域の音色を調整します。	
MOD SOURCE (MOD SRC)	[LFO, ENV]	INPUT SOURCE (SOURCE)	[L+R, Lch, Rch]
マニュアルをゆらすモジュレーションのソースを設定します。		入力信号のソースを選択します。	
LFO SPEED (LFO SPD)	[0.01...16.0Hz]	■DOPPLER (Doppler)	
LFOの周波数を調整します。		ドップラー効果をシミュレートしたエフェクトです(モノラル入カステレオ出力)。	
LFO PHASE (LFO PHAS)	[0...180deg]	SPEED (SPEED)	[0.01...4Hz]
LFOの左右の位相を調整します。		画像の移動する速度を調整します。	
LFO TYPE (LFO TYPE)	[SIN, TRI, EXP, LOG]	PITCH (PITCH)	[0...99]
LFOのタイプを設定します。		画像の移動にともなう音程の変化量を調整します。	
ENVLP PLRTY (ENV PLTY)	[+/+, -/-, +/-, -/+]	SPREAD (SPREAD)	[-99...99]
エンベロープの極性(動作方向)を設定します。		画像に向けた二つのマイクの広がりを調整します。	
“/”の右をライト側の極性、左をレフト側の極性で表示されます。		DELAY TIME (DELAY)	[1...680ms]
■PITCH (Pitch Shifter)		ディレイタイムを調整します。	
入力音の音程を変化させるエフェクトです(モノラル入出力)。		INPUT SOURCE (SOURCE)	[L+R, Lch, Rch]
PITCH (PITCH)	[-2400...2400cent]	入力信号のソースを選択します。	
音程を100[cent]単位で調整します。		■HORN (Horn Simulator)	
FINE (FINE)	[-50...50cent]	ロータリースピーカーのホーン(高域)をシミュレートしたエフェクトです(モノラル入カステレオ出力)。	
音程を1[cent]単位で調整します。		SPEED (SPEED)	[SLOW, FAST]
DELAY TIME (DELAY)	[1...700ms]	ホーンの回転速度を設定します。	
ディレイタイムを調整します。		SLOW SPEED (SLOW SPD)	[0.0...16Hz]
FEEDBACK (FEEDBACK)	[0...99%]	スピードがスローのときの回転速度を調整します。	
フィードバック量を調整します。		FAST SPEED (FAST SPD)	[0.0...16Hz]
HIGH DAMP (HI DAMP)	[THRU...1kHz]	スピードがファストのときの回転速度を調整します。	
高域の音色を調整します。		ACCELERATION (ACCEL)	[1...24]
TYPE (TYPE)	[SLOW, FAST]	回転速度が切り替わるときの時間を調整します。	
ピッチシフタのタイプを設定します。		MIC DISTANCE (DISTANCE)	[0...99]
INPUT SOURCE (SOURCE)	[L+R, Lch, Rch]	ホーンとマイクの距離を調整します。	
入力信号のソースを選択します。		MIC SPREAD (SPREAD)	[-99...99]
■ENSEMBLE (Ensemble)		ホーンに向けた二つのマイクの広がりを調整します。	
3基のコラスを内蔵したアンサンブル・エフェクトです(モノラル入カステレオ出力)。		INPUT SOURCE (SOURCE)	[L+R, Lch, Rch]
SPEED (SPEED)	[0.01...16Hz]	入力信号のソースを選択します。	
モジュレーションのスピードを調整します。		■ROTOR (Rotor Simulator)	
		ロータリースピーカーのローター(低域)をシミュレートしたエフェクトです(モノラル入カステレオ出力)。	

*これらは左/右のラインごとに設定するパラメータです。ディスプレイの表示で、パラメータ名の左が“L”のときはレフト側、“R”のときはライト側のパラメータです。

SPEED (SPEED) [SLOW, FAST] ローターの回転速度を設定します。		TYPE (TYPE) [LPF, BPF, HPF] フィルターのタイプを設定します。	
SLOW SPEED (SLOW SPD) [0.0...16Hz] スピードがスローのときの回転速度を調整します。		FREQUENCY (FREQUENCY) [0...99] フィルターのカットオフ周波数を調整します。	
FAST SPEED (FAST SPD) [0.0...16Hz] スピードがファストのときの回転速度を調整します。		RESONANCE (RESONANCE) [0...99] フィルターのレゾナンス量を調整します。	
ACCELERATION (ACCEL) [1...24] 回転速度が切り替わるときの時間を調整します。		MOD DEPTH (MOD DEPTH) [0...99] モジュレーションの深さを調整します。	
MIC DISTANCE (DISTANCE) [0...99] ローターとマイクの距離を調整します。		MOD STEP (MOD STEP) [OFF, 0.1...40.0Hz] モジュレーションをステップ動作させる周波数を調整します。	
MIC SPREAD (SPREAD) [-99...99] ローターに向けた二つのマイクの広がり調整します。		MOD SMOOTH (MOD SMOOTH) [1...9] モジュレーションのなめらかさを調整します。	
INPUT SOURCE (SOURCE) [L+R, Lch, Rch] 入力信号のソースを選択します。		MOD SOURCE (MOD SRC) [LFO, ENV] カットオフ周波数をゆらすモジュレーションのソースを設定します。	
■S_TREM (Stereo Tremolo) ヴィンテージ・アンプに内蔵されているトレモロを再現したエフェクトです(ステレオ入出力)。		LFO SPEED (LFO SPD) [0.01...16.0Hz] LFOの周波数を調整します。	
SPEED (SPEED) [0.01...16Hz] トレモロのスピードを調整します。		LFO PHASE (LFO PHAS) [0...180deg] LFOの左右の位相を調整します。	
DEPTH (DEPTH) [0...99] トレモロの深さを調整します。		LFO TYPE (LFO TYPE) [SIN, TRI, EXP, LOG] LFOのタイプを設定します。	
SPREAD (SPREAD) [0...99] 広がり具合を調整します。		ENVLP PLRTY (ENV PLTY) [+ / +, - / -, + / -, - / -] エンベロープの極性(動作方向)を設定します。 “/”の右をライト側の極性、左をレフト側の極性で表示されます。	
DUTY (DUTY) [10...90%] LFOのデューティを調整します。		■D_FILTER (Dual Resonance Filter) ステレオ入出力で、2系統の回路を独立して設定できるレゾナンス付きのフィルターです。	
EDGE (EDGE) [1...34] LFOのエッジを調整します。		L TYPE* (L TYPE) [LPF, BPF, HPF] フィルターのタイプを設定します。	
■S_RING (Stereo Ring Modulator) 入力音にサイン波を掛け合わせるによって、金属的な音色を作り出すエフェクトです(ステレオ入出力)。		L FREQUENCY* (L FREQ) [0...99] フィルターのカットオフ周波数を調整します。	
FREQUENCY (FREQ) [0...5kHz] キャリア(サイン波)の周波数を調整します。		L RESONANCE* (L RESO) [0...99] フィルターのレゾナンス量を調整します。	
LPF (LPF) [THRU...1kHz] 入力音に対するLow Pass Filterのカットオフ周波数を調整します。		L MOD DEPTH* (L DEPTH) [0...99] モジュレーションの深さを調整します。	
■D_RING (Dual Ring Modulator) ステレオ入出力で、2系統の回路を独立して設定できるリング・モジュレーターです。		MOD STEP (MOD STEP) [OFF, 0.1...40.0Hz] モジュレーションをステップ動作させる周波数を調整します。	
L FREQUENCY* (L FREQ) [0...5kHz] キャリア(サイン波)の周波数を調整します。		MOD SMOOTH (MOD SMOOTH) [1...9] モジュレーションのなめらかさを調整します。	
L LPF* (L LPF) [THRU...1kHz] 入力音に対するLow Pass Filterのカットオフ周波数を調整します。		MOD SOURCE (MOD SRC) [LFO, ENV] カットオフ周波数をゆらすモジュレーションのソースを設定します。	
■S_FILTER (Stereo Resonance Filter) ステレオ入出力で、レゾナンスの付いたフィルターです。 ハイパス、ローパス、バンドパスとして使用できます。		LFO SPEED (LFO SPD) [0.01...16.0Hz] LFOの周波数を調整します。	

LFO PHASE (LFO PHAS)	[0...180deg]	
LFOの左右の位相を調整します。		
LFO TYPE (LFO TYPE)	[SIN, TRI, EXP, LOG]	
LFOのタイプを設定します。		
ENVLP PLRTY (ENV PLTY)	[+/+, -/-, +/-, -/+]	
エンベロープの極性(動作方向)を設定します。 “/”の右をライト側の極性、左をレフト側の極性で表示されます。		
■S_WAH (Stereo Wah)		
ビンテージ・ワウを再現したエフェクトです(ステレオ入出力)。 パラメータをLFOやエンベロープでコントロールすることにより、オート・ワウとしても使用出来ます。		
MANUAL (MANUAL)	[0...99]	
効果のかかる周波数を調整します。		
BOTTOM RANGE (BTM RANGE)	[1...10]	
ワウが閉じた状態の周波数を調整します。		
BOTTOM Q (BTM Q)	[1...10]	
ワウが閉じた状態のピークを調整します。		
TOP RANGE (TOP RANGE)	[1...10]	
ワウが開いた状態の周波数を調整します。		
TOP Q (TOP Q)	[1...10]	
ワウが開いた状態のピークを調整します。		
CURVE (CURVE)	[A, B, C]	
MANUALパラメータのカーブを設定します。		
MOD DEPTH (MOD DEPTH)	[0...99]	
モジュレーションの深さを調整します。		
MOD STEP (MOD STEP)	[OFF, 0.1...40.0Hz]	
モジュレーションをステップ動作させる周波数を調整します。		
MOD SMOOTH (MOD SMOOTH)	[1...9]	
モジュレーションのなめらかさを調整します。		
MOD SOURCE (MOD SRC)	[LFO, ENV]	
マニュアルをゆらすモジュレーションのソースを設定します。		
LFO SPEED (LFO SPD)	[0.01...16.0Hz]	
LFOの周波数を調整します。		
LFO PHASE (LFO PHAS)	[0...180deg]	
LFOの左右の位相を調整します。		
LFO TYPE (LFO TYPE)	[SIN, TRI, EXP, LOG]	
LFOのタイプを設定します。		
ENVLP PLRTY (ENV PLRTY)	[+, -]	
エンベロープの極性(動作方向)を設定します。		
INPUT SOURCE (SOURCE)	[L+R, Lch, Rch]	
入力信号のソースを選択します。		
■SCMP/LIM (Stereo Compressor/Limiter)		
ステレオ入出力で、スレッシュドレベル以上の音を圧縮するコンプレッサー/リミッターです。		
THRESHOLD (THRESHLD)	[-48...-1dB]	
音の圧縮を開始するレベルを調整します。		
RATIO (RATIO)	[1/2...1/∞]	
圧縮比を調整します。		
ATTACK (ATTACK)	[0.02...90ms]	
スレッシュドを越えた音の圧縮を開始する迄の時間を調整します。		
RELEASE (RELEASE)	[40...9000ms]	
音の圧縮を開放する迄の時間を調整します。		
GAIN (GAIN)	[0...24dB]	
出力レベルを調整します。		
L/R LINK (LINK)	[OFF...EQ_L+R]	
左右の回路を、L/R LINKに設定した信号に同期させます。		

■DCMP/LIM (Dual Compressor/Limiter) ステレオ入出力で、2系統の回路を独立して設定できるコンプレッサー/リミッターです。		LOW CUT (LO CUT) [THRU...1kHz] 低域の音色を調整します。
L THRESHOLD* (L THRD) [-48...-1dB] 音の圧縮を開始するレベルを調整します。		DENSITY (DENSITY) [0...99] 初期反射音の密度を調整します。
L RATIO* (L RATIO) [1/2...1/∞] 圧縮比を調整します。		INPUT SOURCE (SOURCE) [L+R, Lch, Rch] 入力信号のソースを選択します。
L ATTACK* (L ATCK) [0.02...90ms] スレッシュホールドを越えた音の圧縮を開始するまでの時間を調整します。		■SATURATE (Saturater) 音を歪ませるエフェクトです(モノラル入力)
L RELEASE* (L RELS) [40...9000ms] 音の圧縮を開放するまでの時間を調整します。		GAIN (GAIN) [1...60] ゲインを調整します。
L GAIN* (L GAIN) [0...24dB] 出力レベルを調整します。		BOOST (BOOST) [OFF, ON] ゲインをブーストさせるときはONにします。
■S_GATE (Stereo Gate) 設定したレベルよりも小さな信号をミュートするエフェクトです(ステレオ入出力)。		LEVEL (LEVEL) [1...60] 出力レベルを調整します。
THRESHOLD (THRESHLD) [-80...-1dB] 信号を通過させる最小レベルを調整します。		BASS (BASS) [-15...15dB] ベースを調整します。
ATTACK (ATTACK) [0.1...4000ms] ゲートが開く迄の時間を調整します。		MID GAIN (MID G) [-15...15dB] MID EQのゲインを調整します。
RELEASE (RELEASE) [0.1...4000ms] ゲートが閉じる迄の時間を調整します。		MID FC (MID FC) [80Hz...8kHz] MID EQの周波数を調整します。
L/R LINK (LINK) [OFF...EQ_L+R] 左右の回路を、L/R LINKに設定した信号に同期させます。		MID Q (MID Q) [0.3...10] MID EQの帯域幅を調整します。
■D_GATE (Dual Gate) ステレオ入出力で、2系統の回路を独立して設定できるゲートです。		TREBLE (TREBLE) [-15...15dB] トレブルを調整します。
L THRESHOLD* (L THRD) [-80...-1dB] 信号を通過させる最小レベルを調整します。		INPUT SOURCE (SOURCE) [L+R, Lch, Rch] 入力信号のソースを設定します。
L ATTACK* (L ATCK) [0.1...4000ms] ゲートが開く迄の時間を調整します。		■S_3BEQ (Stereo 3 Band EQ) ステレオ入出力の3バンドEQです。
L RELEASE* (L RELS) [0.1...4000ms] ゲートが閉じる迄の時間を調整します。		BAND 1 GAIN (B1 GAIN) [-15...15dB] BAND1のゲインを調整します。
■ER (Early Reflection) リバーブ成分から初期反射音のみを取り出したエフェクトです(モノラル入出力)。		BAND 1 FREQ (B1 FREQ) [80Hz...8kHz] BAND1のカットオフ周波数を調整します。
TYPE (TYPE) [ROOM, HALL, GATE, REVERS] 初期反射のタイプを設定します。		BAND 1 Q (B1 Q) [0.3...10] BAND1の帯域幅を調整します。
PRE DELAY (PRE DLY) [0...300ms] 初期ディレイタイムを調整します。		BAND 2 GAIN (B2 GAIN) [-15...15dB] BAND2のゲインを調整します。
ER TIME (ER TIME) [1...400ms] 初期反射音のタイムを調整します。		BAND 2 FREQ (B2 FREQ) [80Hz...8kHz] BAND2のカットオフ周波数を調整します。
HIGH CUT (HI CUT) [THRU...1kHz] 高域の音色を調整します。		BAND 2 Q (B2 Q) [0.3...10] BAND2の帯域幅を調整します。
		BAND 3 GAIN (B3 GAIN) [-15...15dB] BAND3のゲインを調整します。
		BAND 3 FREQ (B3 FREQ) [80Hz...8kHz] BAND3のカットオフ周波数を調整します。

BAND 3 Q (B3 Q)	[0.3...10]	HIGH DAMP (HI DAMP)	[THRU...1kHz]
BAND3の帯域幅を調整します。		高域の音色を調整します。	
EQ LEVEL (EQ LVL)	[-24...6dB]	LOW DAMP (LO DAMP)	[THRU...1kHz]
EQによって増幅または減衰したレベルの補正をします。		低域の音色を調整します。	
■S_DUCKER (Stereo Ducker)		INPUT SOURCE (SOURCE)	[L+R, Lch, Rch]
ディレイやリバーブの後に接続して、ダッキング効果を得る場合に使用するエフェクトです(ステレオ入出力)。		入力信号のソースを選択します。	
SENSITIVITY (SENS)	[0...99]	■S_DELAY (Stereo Delay)	
ダッカーの感度を調整します。		ステレオ入出力のディレイです。	
ATTACK (ATTACK)	[0.1...4000ms]	DELAY TIME (DELAY)	[1...511ms]
ダッキングを開始するまでの時間を調整します。		ディレイタイムを調整します。	
RELEASE (RELEASE)	[0.1...4000ms]	FEEDBACK (FEEDBACK)	[0...99%]
ダッキングを開放するまでの時間を調整します。		フィードバック量を調整します。	
L/R LINK (LINK)	[OFF...EQ_L+R]	HIGH DAMP (HI DAMP)	[THRU...1kHz]
左右の回路を、L/R LINKに設定した信号に同期させます。		高域の音色を調整します。	
D/R TYPE (DR)	[LONG_DLY...PLATE]	LOW DAMP (LO DAMP)	[THRU...1kHz]
ディレイ/リバーブのタイプを選択します。		低域の音色を調整します。	
サブ・パラメータは選択したエフェクトによって異なります。		■D_DELAY (Dual Delay)	
		ステレオ入出力で、2系統の回路を独立して設定できるディレイです。	
<DLY/REVのサブ・パラメータ>			
D/R TYPEで選択するエフェクトのタイプによって、表示されるサブ・パラメータが以下のように異なります。		L DELAY TIME* (L DELAY)	[1...511ms]
		ディレイタイムを調整します。	
■LONG_DLY (Long Delay)		L FEEDBACK* (L FBCK)	[0...99%]
モノラル入出力で、最も長いディレイタイムが設定できるディレイです。		フィードバック量を調整します。	
DELAY TIME (DELAY)	[1...1023ms]	L HIGH DAMP* (L H-DMP)	[THRU...1kHz]
ディレイタイムを調整します。		高域の音色を調整します。	
FEEDBACK (FEEDBACK)	[0...99%]	L LOW DAMP* (L L-DMP)	[THRU...1kHz]
フィードバック量を調整します。		低域の音色を調整します。	
HIGH DAMP (HI DAMP)	[THRU...1kHz]	■X_DELAY (Cross Delay)	
高域の音色を調整します。		ステレオ入出力で、2系統のディレイのフィードバックを交差させる特殊なディレイです。	
LOW DAMP (LO DAMP)	[THRU...1kHz]	L DELAY TIME* (L DELAY)	[1...511ms]
低域の音色を調整します。		ディレイタイムを調整します。	
INPUT SOURCE (SOURCE)	[L+R, Lch, Rch]	FEEDBACK (FEEDBACK)	[0...99%]
入力信号のソースを選択します。		フィードバック量を調整します。	
■TMP_DLY (Tempo Delay)		HIGH DAMP (HI DAMP)	[THRU...1kHz]
モノラル入出力で、テンポと音符の組み合わせでディレイタイムの設定ができるディレイです。		高域の音色を調整します。	
TEMPO (TEMPO)	[60...208bpm]	LOW DAMP (LO DAMP)	[THRU...1kHz]
テンポをBPM(Beat/min)で設定します。		低域の音色を調整します。	
FACTOR (FACTOR)	[1/4...1]	■LCR_DLY (L/C/R Delay)	
テンポに対するディレイタイムの長さを設定します。		モノラル入カステレオ出力で、3系統の出力タップをそれぞれ、左、右、中央に定位させたマルチタップ・ディレイです。	
FEEDBACK (FEEDBACK)	[0...99%]	L DELAY TIME (L DELAY)	[1...1023ms]
フィードバック量を調整します。		R DELAY TIME (R DELAY)	[1...1023ms]
		C DELAY TIME (C DELAY)	[1...1023ms]
		ディレイタイムを調整します。	

*これらは左/右のラインごとに設定するパラメータです。ディスプレイの表示で、パラメータ名の左が“L”のときはレフト側、“R”のときはライト側のパラメータです。

FEEDBACK (FEEDBACK) [0...99%] センター(C)タップのフィードバック量を調整します。		REV TIME (RV TIME) [0.1...5.2s] リバーブタイムを調整します。	
HIGH DAMP (HI DAMP) [THRU...1kHz] 高域の音色を調整します。		HIGH DAMP (HI DAMP) [THRU...1kHz] 高域の音色を調整します。	
LOW DAMP (LO DAMP) [THRU...1kHz] 低域の音色を調整します。		LOW CUT (LO CUT) [THRU...1kHz] 低域の音色を調整します。	
INPUT SOURCE (SOURCE) [L+R, Lch, Rch] 入力信号のソースを選択します。		DENSITY (DENSITY) [0...99] 残響密度を調整します。	
■MT_DELAY (Multi Tap Delay) モノラル入カステレオ出力で、6系統の出力タップを独立して設定できるマルチタップ・ディレイです。		DIFFUSION (DIFFUSION) [0...99] リバーブ音の拡散を調整します。	
DELAY TIME 1...6 (DELAY 1...6) [1...1023ms] ディレイタイムを調整します。		INPUT SOURCE (SOURCE) [L+R, Lch, Rch] 入力信号のソースを選択します。	
FEEDBACK (FEEDBACK) [0...99%] タップ6からのフィードバック量を調整します。		■HALL (Hall Reverb) モノラル入カステレオ出力で、ホールの残響をシミュレートしたリバーブです。	
HIGH DAMP (HI DAMP) [THRU...1kHz] 高域の音色を調整します。		PRE DELAY (PRE DLY) [0...300ms] 初期ディレイタイムを調整します。	
LOW DAMP (LO DAMP) [THRU...1kHz] 低域の音色を調整します。		REV TIME (RV TIME) [0.26...16s] リバーブタイムを調整します。	
LEVEL 1...6 (LEVEL 1...6) [-INF...0dB] 各タップのレベルを調整します。		HIGH DAMP (HI DAMP) [THRU...1kHz] 高域の音色を調整します。	
PAN 1...6 (PAN 1...6) [L15...R15] 各タップの定位を調整します。		LOW CUT (LO CUT) [THRU...1kHz] 低域の音色を調整します。	
INPUT SOURCE (SOURCE) [L+R, Lch, Rch] 入力信号のソースを選択します。		DENSITY (DENSITY) [0...99] 残響密度を調整します。	
■D_MTDLY (Dual Multi Tap Delay) ステレオ入出力で、左右各3系統の出力タップを独立して設定できるマルチタップ・ディレイです。		DIFFUSION (DIFFUSION) [0...99] リバーブ音の拡散を調整します。	
L DELAY 1...3* (L DLY 1...3) [1...511ms] ディレイタイムを調整します。		INPUT SOURCE (SOURCE) [L+R, Lch, Rch] 入力信号のソースを選択します。	
L FEEDBACK* (L FBACK) [0...99%] タップ3からのフィードバック量を調整します。		■PLATE (Plate Reverb) モノラル入カステレオ出力で、プレートリバーブをシミュレートしたリバーブです。	
L HIGH DAMP* (L H-DMP) [THRU...1kHz] 高域の音色を調整します。		PRE DELAY (PRE DLY) [0...300ms] 初期ディレイタイムを調整します。	
L LOW DAMP* (L L-DMP) [THRU...1kHz] 低域の音色を調整します。		REV TIME (RV TIME) [0.26...16s] リバーブタイムを調整します。	
L LEVEL 1...3* (L LVL 1...3) [-INF...0dB] 各タップのレベルを調整します。		HIGH DAMP (HI DAMP) [THRU...1kHz] 高域の音色を調整します。	
L PAN 1...3* (L PAN 1...3) [L15...R15] 各タップの定位を調整します。		LOW CUT (LO CUT) [THRU...1kHz] 低域の音色を調整します。	
■ROOM (Room Reverb) モノラル入カステレオ出力で、ルームの残響をシミュレートしたリバーブです。		DENSITY (DENSITY) [0...99] 残響密度を調整します。	
PRE DELAY (PRE DLY) [0...300ms] 初期ディレイタイムを調整します。		DIFFUSION (DIFFUSION) [0...99] リバーブ音の拡散を調整します。	
		INPUT SOURCE (SOURCE) [L+R, Lch, Rch] 入力信号のソースを選択します。	

FX1 SOURCE (FX1 SOURCE)

エフェクト1へ送る信号を設定します。

DIRECT PATH (DIR) [PRE_EQ, POST_EQ]
ダイレクト音の経路を設定します。
PRE_EQにすると、入力音がそのままエフェクト1へ送られます。
POST_EQにすると、EQで処理された入力音がエフェクト1へ送られます。

FX2 SOURCE (FX2 SOURCE)

エフェクト2に送る信号を設定します。

DIR>FX2 (DIR>FX2) [-INF...0dB]
エフェクト2へ送るダイレクト音の量を設定します。

FX1>FX2 (FX1>FX2) [-INF...0dB]
エフェクト2へ送るエフェクト1の出力音の量を設定します。

D/R>FX2 (D/R>FX2) [-INF...0dB]
SIGNAL PATHでD/R>FX2を選択したときに使用できます。
エフェクト2へ送るDELAY/REVERBの出力音の量を設定します。

DIRECT PATH (DIR) [PRE_EQ, POST_EQ]
ダイレクト音の経路を設定します。
PRE_EQにすると、入力音がそのままエフェクト2へ送られます。
POST_EQにすると、EQで処理された入力音がエフェクト2へ送られます。

D/R SOURCE (D/R SOURCE)

ディレイ/リバースへ送る信号を設定します。

DIR>D/R (DIR>D/R) [-INF...0dB]
ディレイ/リバースへ送るダイレクト音の量を設定します。

FX1>D/R (FX1>D/R) [-INF...0dB]
ディレイ/リバースへ送るエフェクト1の出力音の量を設定します。

FX2>D/R (FX2>D/R) [-INF...0dB]
SIGNAL PATHでFX2>D/Rを選択したときに使用できます。
ディレイ/リバースへ送るエフェクト2の出力音の量を設定します。

DIRECT PATH (DIR) [PRE_EQ, POST_EQ]
ダイレクト音の経路を設定します。
PRE_EQにすると、入力音がそのままディレイ/リバースへ送られます。
POST_EQにすると、EQで処理された入力音がディレイ/リバースへ送られます。

SIGNAL PATH (PATH) [FX2>D/R, D/R>FX2]

FX2とD/Rの結線を選択します。
巻頭の回路図を参照してください。

MIXER (MIXER)

出力信号をミキシングします。

FX1 LVL (FX1 LEVEL) [-INF...0dB]
FX2 LVL (FX2 LEVEL) [-INF...0dB]
D/R LVL (D/R LEVEL) [-INF...0dB]
各エフェクト音の出力レベルを調整します。

WET LEVEL (WET LVL) [-INF...0dB]
エフェクト音のトータル出力レベルを調整します。

DIRECT LEVEL (DIR LVL) [-INF...0dB]
ダイレクト音の出力レベルを調整します。

FX1 PAN (FX1 PAN) [L15...R15]
FX2 PAN (FX2 PAN) [L15...R15]
D/R PAN (D/R PAN) [L15...R15]
各エフェクト音の定位や左右の出力バランスを調整します。

WET L/R BAL (WET BAL) [L15...R15]
エフェクト音のトータルの左右の出力バランスを調整します。

DIR L/R BAL (DIR BAL) [L15...R15]
ダイレクト音の左右の出力バランスを調整します。

WET SPREAD (SPREAD) [0...30]
エフェクト音のトータルの広がりを調整します。

DIRECT PATH (DIR) [PRE_EQ, POST_EQ]
ダイレクト音の経路を設定します。
PRE_EQにすると、入力音がそのまま出力されます。
POST_EQにすると、EQで処理された入力音が出力されます。

EXPRESSION 1...8 (EXP1...8) [OFF, ON]

コントローラでパラメータをリアルタイムで操作する場合はONにします。

EXP1...8 TARGET (TG1...8) [エフェクト・タイプの設定による]
EXP1~8でコントロールするパラメータを割り当てます。
表示されているパラメータがFX1のときはディスプレイの右の[1]が、FX2のときは[2]が、DLY/REVのときは[3]がそれぞれ点滅します。

EXP1...8 SOURCE (SRC1...8) [CR1...CR8]
コントローラ1~8から、コントロールさせるソースを選択します。

EXP1...8 RANGE (RANGE1...8) [TG1...8の設定による]
コントローラが最大値(最小値)のときのパラメータの値を設定します。

EXP1...8 POLARTY (POLARITY1...8) [+,-]
コントローラの動作方向を設定します。

WARP! RESLT (WARP) [0...20]

[WARP!]ノブの感度を設定します。

RENAME (RENAME)

プログラムネームを設定します。
[FUNCTION]ノブで桁を指定し、[VALUE]ノブで文字を選択します。

UTILITYモード

CNTRL DEVICE (CNTRL DEVICE)

各コントロール・デバイスを、コントローラ1~8に割り当てます。

CONTROLLER1...8 (CR1...8) [WARP], PEDAL1...3, CC0...120, A.TOUCH, P.BEND, VELOCITY, NOTE_NUM]
[WARP!]ノブや、コントロールペダル、MIDIコントロールチェンジなどのコントロール・デバイスを、コントローラとして割り当てます。

CONTROL INIT (CTL INIT) [ENA, DIS]
ENA (Enable)にすると、プログラムの変更時にコントローラを初期化します。

MIDI (MIDI)

MIDIに関する設定を行います。

MIDI CHANNEL (MIDI CH) [1...16]
MIDIチャンネルの設定を行います。

PROG CHANGE (PROG CHG) [ENA, DIS]
MIDIプログラムチェンジを送受信するときはENA(Enable)を選択します。

CTRL CHANGE (CTRL CHG) [ENA, DIS]
MIDIコントロールチェンジを送受信するときはENA(Enable)を選択します。

EXCLUSIVE (EXCLUSIV) [ENA, DIS]
MIDIエクスクルーシブデータを送受信するときはENA(Enable)を選択します。

DUMP CURRENT (CURNT [DUMP])
このパラメータを選択して[VALUE]ノブを押すと、現在のプログラムがエクスクルーシブ・データとして送信されます。

DUMP ALL (ALL [DUMP])
このパラメータを選択して[VALUE]ノブを押すと、全てのプログラムがエクスクルーシブ・データとして送信されます。

FX1 (FX1) [CC0...120]
FX2 (FX2) [CC0...120]
DLY/REV (DLY/REV) [CC0...120]
BYPASS (BYPASS) [CC0...120]

フロントパネルの[FX1]キー、[FX2]キー、[DLY/REV]キー、[BYPASS]キーに、MIDIのコントロールチェンジ・ナンバーを割り当てます。

ここで割り当てたMIDIコントロールチェンジ・ナンバーを受信すると、上記のキーを押したときと同じ様に動作します。上記のキーを押すと、ここで設定したMIDIコントロールチェンジ・ナンバーを送信します。

PROGRAM (PROGRAM)

プログラムチェンジに関する設定を行います。

PROGCHG MODE (PC MODE) [DIR, 2STP]
プログラムの選択方法を設定します。

DIR (Direct)にすると、[VALUE]ノブを回してプログラムを選

択した時点でプログラムが決定されます。

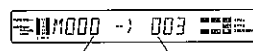
2STP (2 Step)にすると、[VALUE]ノブを回してプログラムを選択し、[VALUE]ノブを押してプログラムを決定します。このとき、プログラムが決定されるまではプログラムナンバーが点滅し、[VALUE]ノブを押して、はじめてプログラムが変更されます。

WAKE UP PROG (WAKE UP) [0...127]
電源ON時には、ここで選択したナンバーのプログラムが呼び出されます。

MAP (MAP) [OFF, ON]

本機のプログラムナンバーとMIDIプログラム・チェンジ・ナンバーの対応を設定します。

ONにすると、設定したプログラム・マップが使用されます。プログラム・マップを設定するときは、最初に[FUNCTION]ノブを押します(ディスプレイは下のような表示に変化)。



そして、[FUNCTION]ノブを回してMIDIプログラムチェンジ・ナンバーを選択し、[VALUE]ノブを回して割り当てるプログラムナンバーを設定します。

最後に、[FUNCTION]ノブを押して設定を終了します。

OFFにすると、MIDIプログラムチェンジ・ナンバー1にはプログラム1というように、MIDIプログラムチェンジ・ナンバーがそのままプログラムに割り当てられます。

AUDIO CNTRL (AUDIO CNTRL)

オーディオ信号によるコントローラの設定を行います。

ENVELOP SENS (ENV SENS) [0...30]
エンベロープ・コントローラの感度を設定します。

DISPLAY (DISPLAY)

ディスプレイに関する設定を行います。

DISPLAY MODE (DSP MODE) [NAME, NUM, MAP]
プログラムモードでディスプレイに表示される項目を設定します。

NAMEにすると、現在選択しているプログラム名が表示されます。

NUMにすると、現在選択しているプログラム番号とプログラム名の一部が表示されます。

MAPにすると、MIDIから受信したプログラムチェンジ・ナンバーと、それに対応したプログラム・ナンバーが表示されます。

ABBREV TIME (ABRV TIME) [0...8]

ABRV MODEが1のときは、パラメータ名がフルネームで表示されてから短縮形の表示になるまでの時間を設定します。0にすると省略形で表示されます。1以降はパラメータ名が一度表示されてから省略形に変化します。数値が大きくなるほど変化する時間が長くなります。

ABRV MODEが2のときは、スクロールする速さを設定します。

数値が大きくなるほどスクロールが遅くなります。

ABBREV MODE (ABRV MODE) [1, 2]

パラメータ名の表示方法を設定します。
 1にすると、パラメータ名は省略形で表示されます。
 2にすると、パラメータ名はスクロールで表示されます。

DIMMER (DIMMER) [1...8]

ディスプレイの明るさを調節します。

FOOT PEDAL (FOOT PEDAL)

リアパネルのBYPASS端子に接続するペダルスイッチのタイプを設定します。

BYPASS PEDAL (BYPASS) [L, H, U, D, U/D]

BYPASS端子に接続するペダルスイッチのタイプを設定します。

Lにすると、フットスイッチがクローズ(接点が接触している)の間は動作をします。

Hにすると、フットスイッチがオープン(接点が離れている)の間は動作をします。

Uにすると、フットスイッチがクローズからオープンになる瞬間に動作をします。

Dにすると、フットスイッチがオープンからクローズになる瞬間に動作をします。

U/Dにするとフットスイッチの状態が切り替わるたびに動作をします。

MEMORY (MEMORY)


プログラムメモリーに関する設定を行います。

WRITE PROTCT (W-PROTCT) [OFF, ON]

ONにすると、プログラムの書き換えを禁止します。

PRESET (PRESET[LOAD])

工場出荷時のプログラムをロード(読み込み)します。

 ロードすると、工場出荷時のプログラムが本体のプログラムの上に書き込まれるので、ライトの操作で本体に保存したデータを失うことになります。大切なデータは、データファイラー等へあらかじめ保存しておいてください。

[VALUE]ノブを押すと、プログラムがロードされます。

MIX OFFSET (MIX OFFSET)

全プログラムのダイレクト/エフェクト・レベルを、一度に調整する機能です。

DIRECT OFFST (DIR OFS) [−INF...0dB]

全プログラムのダイレクト音の音量を調整します。

WET OFFSET (WET OFS) [−INF...0dB]

全プログラムのエフェクト音の音量を調整します。

メッセージについて

COMPLETED

操作が完了した。

LOADING...

工場出荷時のプログラムをロード中です。

PROTECTED

WRITE PROTCTがONになっているのでライトできません。UTILITYモードでMEMORYパラメータのWRITE PROTCTをOFFにしてからライトしてください。

READ ONLY

ROMエリアへライトしようとした(Romエリアへはライトできません)。0~127のユーザー・エリアへライトしてください。

故障かな?と思ったら

故障かな?と思ったら、まず次の事項を確認してください。症状が改善されない場合には、お近くの販売店またはコルグ インフォメーションまでお問い合わせください。

電源が入らない

付属のAC/ACパワーサプライは正しく接続されていますか?

⇒ 接続を確認してください。

音が出ない(小さい)

音源、パワード・モニター等の電源はONになっていますか?

音源、パワード・モニター等は正しく接続されていますか?

⇒ 各機器の設定、接続を確認してください。

接続コードは断線していませんか?

⇒ 接続コードを確認してください。

音源のアウトプット・レベルや[OUTPUT]ノブ、[INPUT]ノブは0になっていませんか?

⇒ 音源のアウトプット・レベルや[OUTPUT]ノブ、[INPUT]ノブの設定で、出力される音量を調整してください。

MIXERやFX1 SOURCE、FX2 SOURCE、D/R SOURCEパラメータのレベルの設定が-INFになっていませんか?

⇒ PROGRAM EDITモードのMIXERやFX1 SOURCE、FX2 SOURCE、D/R SOURCEのサブ・パラメータで各レベルを調整してください。

OUTPUT端子のLまたはRの片方だけに接続していませんか?

⇒ PROGRAM EDITモードのMIXERのサブ・パラメータで出力バランスを調整するか、ステレオ・アウトにしてください。

接続したフットペダルが使えない

接続したフットペダルとFOOT PEDALパラメータの設定は合っていますか?

⇒ 接続したフットペダルに合わせて、UTILITYモードのFOOT PEDALのサブ・パラメータを設定してください。

接続コードは断線していませんか?

⇒ フットペダルの接続コードを確認してください。

エフェクトがかからない

バイパスは解除されていますか?

⇒ [BYPASS]キーまたはBYPASS端子に接続したペダルスイッチで、バイパスを解除してください。

各エフェクトへ信号が送られていますか?

⇒ FX1 SOURCE、FX2 SOURCE、D/R SOURCEのサブ・パラメータで各レベルを調整してください。

[WARP!]ノブやCONTORL端子1~3に接続したペダルスイッチを操作しても、設定した効果が得られない。

UTILITYモードで[WARP!]ノブやCONTROL端子1~3に接続したペダルスイッチでコントロールするようにデバイスが設定され、PROGRAM EDITモードでコントロールされるパラメータが正しく選択されていますか?

⇒ 各モードの設定を確認してください。[「WARP!」ノブによるコントロール](P9)を参照してください。

プログラムの保存ができない

プロテクトがかかっていませんか?

⇒ UTILITYモードのWRITE PROTCT (MEMORYのサブ・パラメータ)をOFFにしてください。

プログラムのROMエリア(128~255)にライトしようとしていませんか?

⇒ ユーザー・エリア(0~127)にライトしてください。

仕様

- コントローラ: [INPUT]ノブ(L, R)、[OUTPUT]ノブ、[FUNCTION]ノブ、[VALUE]ノブ、[WARP!]ノブ、[FX1]キー、[FX2]キー、[DLY/REV]キー、[BYPASS]キー、電源スイッチ
- 入出力: INPUT端子(L/MONO、R)(標準)、OUTPUT端子(L, R)(標準)、BYPASS端子(標準)、CONTROL端子1~3(標準)、AC9V IN(標準DIN-4pinコネクタ)、MIDI端子(IN、OUT、THRU)
- ディスプレイ: 12ケタ ALPHA-NUMERIC
- エフェクト数: 40
- プリセット・プログラム: 256(ユーザー・エリア: 128、ROMエリア: 128)
- 最大入力レベル: +20.0dBu
- 入力感度: -10dBu~+8.0dBu(ヘッドルーム12dB時)
- 入力インピーダンス: 500k Ω
- 最大出力レベル: +20.0dBu
- 出力負荷インピーダンス: 600 Ω 以上
- 周波数特性: 20Hz~20kHz(±1.0dB)
- ダイナミックレンジ: 96dB(@1kHz AWTD 22kHz-LPF)
- T.H.D.+ N: 0.03%(@1kHz F.S. 22kHz-LPF)
- A/D、D/A分解能: 18bit リニア
サンプルレート: 48kHz(128倍オーバーサンプリングビットストリームADC、DAC)
- 外形寸法(W x D x H): 482 x 216 x 44(mm)
- 重量: 2.4kg
- 電源: AC 9V(KORG KA141)
消費電流: 2,000mA(最大)
- 動作温度: 0~40°C(ただし結露なきこと)
- 付属品: 取扱説明書、ゴム足、AC/ACパワーサプライ

(F.S.=デジタルフルスケールレベル)

(0dBu=0.775Vrms)

外形および仕様は、改良のため予告なく変更することがあります。

[アンビエンス・マルチ・エフェクト・プロセッサー] 1997.06.19
 AM8000R MIDIインプリメンテーション・チャート

ファンクション・・・	送信	受信	備考
ベーシック チャンネル:	1~16 1~16	1~16 1~16	記憶される
モード	× × × *****	× × ×	
電源ON時 メッセージ 代用	× × × *****	○0~127 ×	コントロール・ソースとして受信 *C
ノート・ ナンバー:	× × × *****	○9n, V=1~127 ×	コントロール・ソースとして受信 *C
ベロシティ:	× × × *****	× × ○	コントロール・ソースとして受信 *C
アフタータッチ: キー別 チャンネル別	× × × *****	× × ○	コントロール・ソースとして受信 *C
ピッチ・ベンダー	× × × *****	○	コントロール・ソースとして受信 *C
0, 32	○	○	バンク・セレクト(MSB, LSB) *P

MIDI IMPLEMENTATIONの配布についてはコルグ インフォメーションへお問い合わせください。

コントロール チェンジ:	0~120	○	○	○	*1*C
	121	×	○	○	リセット・オールコントロール
プログラム チェンジ:	設定可能範囲	○ 0~127 *****	○ 0~127 0~127	○	*P
エクスクルージブ		○	○	○	*E
コモン:	ソング・ポジション ソング・セレクト チューン	×	×	×	
リアルタイム:	クロック コマンド	×	×	×	
その他:	ローカル・オン/オフ オール・ノート・オフ アクティブセンシング リセット	×	×	×	
備考	<p>*C, *P, *E: MIDI Filter (Control Change, Program Change, System Exclusive)がENANAのとき送受信する。 *1: スイッチにコントロール・チェンジがアサインされているとき送受信する。</p>				

○: あり
×: なし

モード1: オムニ・オン, ポリ
モード2: オムニ・オン, モノ
モード3: オムニ・オフ, ポリ
モード4: オムニ・オフ, モノ

モード1: オムニ・オン, ポリ
モード2: オムニ・オン, モノ
モード3: オムニ・オフ, ポリ
モード4: オムニ・オフ, モノ

アフターサービス

■製品をお買い上げいただいた日より一年間は保証期間です。万一保証期間内に、製造上の不備による故障が生じた場合は無償修理いたしますので、お買い上げの販売店に保証書を提示して修理をご依頼ください。ただし次の場合の修理は有償となります。

- ・消耗部品(電池など)を交換する場合。
- ・輸送時の落下、衝撃などお客様の取扱方法が不適当のため生じた故障。
- ・天災(火災等)によって生じた故障。
- ・故障の原因が本製品以外の他の機種にある場合。
- ・コルグ・サービスステーション及びコルグ指定者以外の手で修理、改造された部分の処理が不適当であった場合。
- ・保証書に販売店名、お客様氏名、ご住所、お買い上げ日等が記入されていない場合。
- ・保証期間が切れている場合。
- ・日本国外で使用される場合。

■当社が修理した部分が再度故障した場合は、保証期間外であっても3カ月以内に限り無償修理いたします。また仕様変更に関しては有償になりますのでご了承ください。

■お客様が保証期間中に移転された場合でも、保証書は引き続きお使いいただけます。移転先のコルグ製品取扱店、またはコルグ・インフォメーションまでお問い合わせください。

■保証期間が切れますと、修理は有償になりますが、引き続き製品の修理は責任をもってさせていただきます。修理用性能部品(電子回路など)は通常8年間を基準に保有しております。ただし外装部品(パネル、スイッチなど)の修理は類似の代替品を使用することもありますのでご了承ください。

■その他、アフターサービスについてご不明の点は下記へお問い合わせください。

▼▲▼▲▼▲▼ 株式会社コルグ ▼▲▼▲▼▲▼

インフォメーション	〒168 東京都杉並区下高井戸1-15-12	☎(03) 5376-5022
東京営業所	〒168 東京都杉並区下高井戸1-11-17	☎(03) 3323-5241
名古屋営業所	〒466 名古屋市昭和区八事本町100-51	☎(052) 832-1419
大阪営業所	〒531 大阪市北区豊崎3-2-1 淀川5番館7F	☎(06) 374-0691
福岡営業所	〒810 福岡市中央区白金1-3-25 第2池田ビル1F	☎(092) 531-0166

■修理等については、最寄りの各営業所または下記までお問い合わせください。
 営業技術課 〒168 東京都杉並区下高井戸1-15-12 ☎(03) 3309-7004

< WARNING! >

This Product is only suitable for sale in Japan. Properly qualified service is not available for this product if purchased elsewhere. Any unauthorised modification or removal of original serial number will disqualify this product from warranty protection.

(この英文は日本国内で購入された外国人のお客様のための注意事項です。)

KORG

■本社: 〒168 東京都杉並区下高井戸1-15-12 ☎(03)3325-5691 ■インフォメーション: 〒168 東京都杉並区下高井戸1-15-12 ☎(03)5376-5022
 ■東京営業所: 〒168 東京都杉並区下高井戸1-11-17 ☎(03)3323-5241
 ■名古屋営業所/ショールーム/スタジオ: 〒466 名古屋市昭和区八事本町100-51 ☎(052)832-1419
 ■大阪営業所: 〒531 大阪市北区豊崎3-2-1 淀川5番館7F ☎(06)374-0691
 ■福岡営業所: 〒810 福岡市中央区白金1-3-25 第2池田ビル1F ☎(092)531-0166